

# 青森県景気ウォッチャー調査

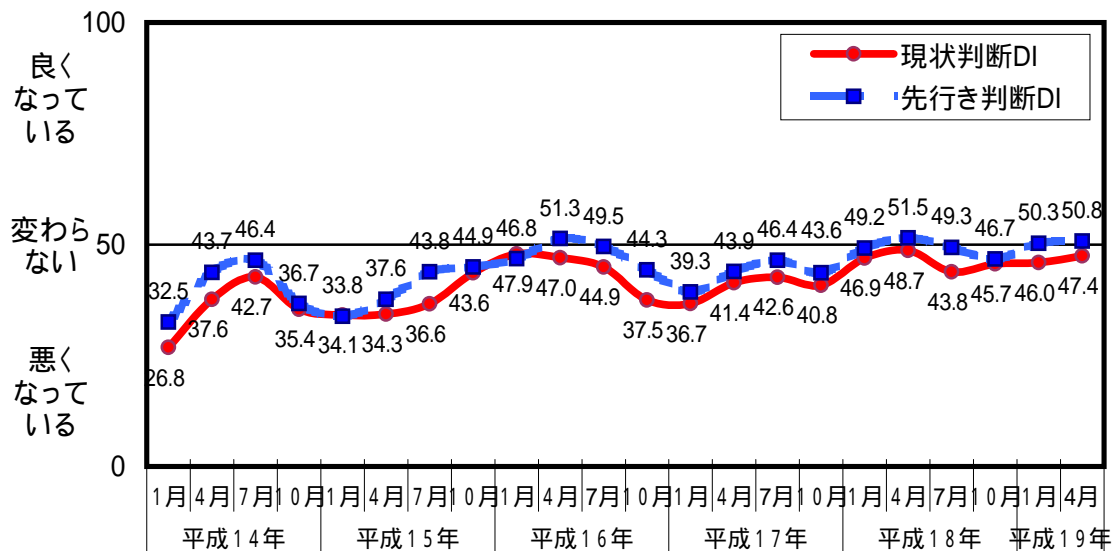
## (平成19年4月期)

調査期間 平成19年4月2日～4月20日 回答率98%

### 概況

4月期は、景気の現状判断DI、先行き判断DIともに前期を上回り、先行き判断DIは2期連続で横ばいを示す50を上回った。

### 景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成19年5月

青森県企画政策部統計分析課

## 青森県景気ウォッチャー調査について

### 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### 地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

#### (2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

#### (3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

### 3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ  
 TEL 017-734-9165(直通)又は017-722-1111(内線2189)  
 FAX 017-734-8038

## 1. 結果概要

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや悪くなっている」が7.9ポイント減少したことにより、全体では1.4ポイント増の47.4となり、引き続き横ばいを示す50を下回ったが、3期連続で前期のポイントを上回った。</p> <p>判断理由をみると、1～2月の暖冬少雪、3月の天候不順による売上不振や客単価の伸び悩みをあげる声が多く見られる一方で、求人が増加傾向にあるという声や一部で来客者数が増加したという声が見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、家計関連で0.2ポイント、企業関連で2.8ポイント、雇用関連で10.7ポイント増加している。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、東青、県南地区においてポイントが増加したが、津軽、下北地区ではポイントが減少し、東青、津軽、下北の3地区において横ばいを示す50を下回っている。</p>

### (2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「変わらない」が6.5ポイント減少し、「やや良くなる」が4.2ポイント増加したことにより、全体では前期を0.5ポイント上回る50.8となり、2期連続で横ばいを示す50を上回った。</p> <p>判断理由を見ると、金利上昇に対する懸念や景気が好転する要素が見当たらないという声が多くある一方、桜祭りをはじめとする観光シーズンの到来や中央都市部の景気の波及効果を期待する声が見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、企業関連で4.1ポイント、雇用関連で14.3ポイント増加したが家計関連については1.7ポイント減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、東青、県南地区においてポイントが増加したが、津軽地区においてはポイントが減少した。下北地区は前期と同ポイントであった。県南地区52.7、下北地区55.0と、2地区において、横ばいを示す50を上回った。</p>

## 2. 県全体の動向

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=98

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>48.7</b>	<b>43.8</b>	<b>45.7</b>	<b>46.0</b>	<b>47.4</b>
家計関連	47.6	41.3	44.2	45.3	45.5
小売	48.2	40.8	47.5	49.2	43.3
飲食	45.8	35.4	37.5	41.7	43.2
サービス	45.4	41.7	42.3	43.3	47.1
住宅	58.3	54.2	50.0	41.7	54.2
企業関連	54.2	50.0	54.2	50.0	52.8
雇用関連	46.4	53.6	39.3	42.9	53.6

回答別構成比(%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
やや良くなっている	23.5	9.0	14.3	13.1	15.3
変わらない	52.0	63.0	61.2	60.6	62.2
やや悪くなっている	20.4	22.0	17.3	23.2	15.3
悪くなっている	4.1	6.0	7.1	3.0	6.1

### (2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=98

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>51.5</b>	<b>49.3</b>	<b>46.7</b>	<b>50.3</b>	<b>50.8</b>
家計関連	50.7	48.7	47.3	50.7	49.0
小売	52.7	50.0	50.0	51.7	45.0
飲食	47.9	43.8	39.6	45.8	45.5
サービス	50.9	49.1	48.1	51.0	54.8
住宅	45.8	50.0	45.0	54.2	50.0
企業関連	56.9	52.8	47.2	52.8	56.9
雇用関連	46.4	46.4	39.3	39.3	53.6

回答別構成比(%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなる	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0
やや良くなる	29.6	19.0	17.3	17.2	21.4
変わらない	50.0	58.0	56.1	68.7	62.2
やや悪くなる	17.3	20.0	18.4	12.1	14.3
悪くなる	3.1	2.0	7.1	2.0	2.0

### 3. 地区別の動向

#### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

##### < 東青地区 >

DI

n=30

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>53.3</b>	<b>44.2</b>	<b>41.4</b>	<b>44.0</b>	<b>46.7</b>
家計関連	52.2	42.4	42.0	45.5	46.7
小売	55.6	41.7	47.2	50.0	44.4
飲食	50.0	41.7	41.7	50.0	58.3
サービス	47.2	41.7	36.1	37.5	44.4
住宅	62.5	50.0	50.0	50.0	50.0
企業関連	62.5	50.0	43.8	43.8	50.0
雇用関連	50.0	50.0	33.3	33.3	41.7

##### 回答別構成比 (%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	33.3	10.0	10.3	10.3	10.0
変わらない	50.0	60.0	55.2	62.1	70.0
やや悪くなっている	13.3	26.7	24.1	20.7	16.7
悪くなっている	3.3	3.3	10.3	6.9	3.3

##### < 津軽地区 >

DI

n=30

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>43.1</b>	<b>43.3</b>	<b>47.5</b>	<b>45.0</b>	<b>40.0</b>
家計関連	42.9	40.9	47.7	44.3	36.4
小売	40.6	38.9	52.8	50.0	27.8
飲食	50.0	41.7	50.0	41.7	33.3
サービス	40.6	40.6	40.6	40.6	46.9
住宅	50.0	50.0	50.0	37.5	37.5
企業関連	45.8	45.8	50.0	45.8	45.8
雇用関連	37.5	62.5	37.5	50.0	62.5

##### 回答別構成比 (%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.3	6.7	10.0	10.0	6.7
変わらない	62.1	66.7	73.3	63.3	60.0
やや悪くなっている	17.2	20.0	13.3	23.3	20.0
悪くなっている	10.3	6.7	3.3	3.3	13.3

< 県南地区 >

D I

n=28

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>48.3</b>	<b>46.7</b>	<b>49.1</b>	<b>47.5</b>	<b>57.1</b>
家計関連	46.3	44.0	45.0	45.2	55.3
小売	43.8	50.0	52.8	47.2	58.3
飲食	33.3	25.0	16.7	33.3	37.5
サービス	50.0	39.3	45.8	50.0	50.0
住宅	62.5	62.5	50.0	37.5	75.0
企業関連	53.6	53.6	60.7	53.6	60.7
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	62.5

回答別構成比 (%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
やや良くなっている	24.1	13.3	20.7	20.0	35.7
変わらない	44.8	63.3	62.1	50.0	50.0
やや悪くなっている	31.0	20.0	10.3	30.0	7.1
悪くなっている	0.0	3.3	6.9	0.0	3.6

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>52.5</b>	<b>35.0</b>	<b>42.5</b>	<b>50.0</b>	<b>45.0</b>
家計関連	50.0	33.3	38.9	47.2	44.4
小売	58.3	16.7	16.7	50.0	41.7
飲食	50.0	33.3	41.7	41.7	41.7
サービス	41.7	50.0	58.3	50.0	50.0
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	75.0	75.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	30.0	0.0	20.0	10.0	0.0
変わらない	50.0	60.0	40.0	80.0	80.0
やや悪くなっている	20.0	20.0	30.0	10.0	20.0
悪くなっている	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0

( 2 ) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>53.3</b>	<b>50.8</b>	<b>40.5</b>	<b>44.8</b>	<b>49.2</b>
家計関連	52.2	48.9	40.9	45.5	47.8
小売	55.6	55.6	47.2	52.8	44.4
飲食	58.3	41.7	41.7	41.7	50.0
サービス	47.2	47.2	33.3	37.5	52.8
住宅	50.0	37.5	50.0	50.0	37.5
企業関連	68.8	62.5	43.8	56.3	56.3
雇用関連	41.7	50.0	33.3	25.0	50.0

回答別構成比 (%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなる	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	36.7	20.0	10.3	13.8	26.7
変わらない	43.3	56.7	51.7	58.6	46.7
やや悪くなる	16.7	16.7	27.6	20.7	23.3
悪くなる	3.3	3.3	10.3	6.9	3.3

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>49.1</b>	<b>46.7</b>	<b>45.0</b>	<b>53.3</b>	<b>49.2</b>
家計関連	48.8	46.6	45.5	53.4	45.5
小売	46.9	41.7	44.4	52.8	41.7
飲食	41.7	58.3	41.7	50.0	41.7
サービス	53.1	46.9	50.0	56.3	50.0
住宅	50.0	50.0	37.5	50.0	50.0
企業関連	50.0	50.0	45.8	54.2	62.5
雇用関連	50.0	37.5	37.5	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	24.1	16.7	16.7	16.7	13.3
変わらない	51.7	56.7	53.3	80.0	73.3
やや悪くなる	20.7	23.3	23.3	3.3	10.0
悪くなる	3.4	3.3	6.7	0.0	3.3

< 県南地区 >

D I

n=28

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	51.7	52.5	52.6	50.8	52.7
家計関連	51.3	53.6	53.8	51.2	52.6
小売	56.3	58.3	61.1	50.0	47.2
飲食	50.0	33.3	25.0	41.7	37.5
サービス	50.0	53.6	58.3	53.6	62.5
住宅	37.5	62.5	50.0	62.5	62.5
企業関連	53.6	50.0	50.0	50.0	50.0
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	62.5

回答別構成比 (%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなる	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0
やや良くなる	27.6	26.7	24.1	20.0	25.0
変わらない	51.7	56.7	58.6	63.3	60.7
やや悪くなる	20.7	16.7	6.9	16.7	14.3
悪くなる	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	52.5	42.5	52.5	55.0	55.0
家計関連	50.0	41.7	52.8	55.6	52.8
小売	50.0	33.3	41.7	50.0	50.0
飲食	41.7	41.7	50.0	50.0	50.0
サービス	58.3	50.0	66.7	66.7	58.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	50.0	50.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	0.0	20.0	20.0	20.0
変わらない	60.0	70.0	70.0	80.0	80.0
やや悪くなる	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0
悪くなる	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0



## 4 . 判断理由

### ( 1 ) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	企業	県南	食料品製造	春で購買意欲がよくなっている。
やや良くなっている	家計	東青	観光名所等	お客様の笑顔が増え、購買力が上がっている。しかしながら、当施設内にて行われている新幹線工事の影響で、お客様から「音がうるさい」とか「怖くて歩けない」とかいう声が聞こえてくる。やはり、青森に新幹線が開通することはいいことだが、今現在青森に来ていただいているお客様への配慮が必要だと思ふ。
			レストラン	1～3月トータルで考えるとやや悪いのかもしれませんが、3月は歓送迎会が入り一時的に良くなりました。
		津軽	タクシー	暖冬の影響で大きく売上が落ち込んだが、3月は人の移動とかがあり、昨年並みの売上は確保できたと思う。
		県南	家電量販店	パソコンでは新しいIOSが発売され、対応する周辺機器も増加してきている。今後そうした売上が伸びると思う。
			衣料専門店	1月～3月にかけて暖冬により重衣料・高額商品が他県からまわって来ました。入荷した途端タイミングよく八戸が寒くなり、天候要因が良い方向に向かったと思います。景気が上向きになったとは思っていませんが。
			スーパー	客数増になってきている。
			設計事務所	下がるどころまで下がったので少し上昇気味かなと思う。
			観光型ホテル・旅館	来客数及び購買単価のアップ。格安の商品の売れに陰りが出る一方で、高額でも質の良いと思われるものは売れている。
			観光名所等	お札を出して買い物する人が多くなった。売上は増えて、10円玉のつり銭の準備が多めに必要となってきた。細かく払う人が少なくなってきた。
			住宅建設販売	春の着工が増えている。
	企業	東青	建設	景況は総じて上向きと言えようが、建設業にあっては、官公需の減少が続き、民需は競争による収益低迷 - という構造的要因が大きく作用するから目立った変化はないと考えられるものの幾分は改善されよう。
			県南	経営コンサルタント
		県南	電気機械製造	人が集まりにくくなってきました。また、部材購入をする時に納期が長くなる傾向がある。受注案件も多くある中で関東・中京の人手不足によりこちらに入ってきたと思われる仕事がよく見られます。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	雇用	津軽	人材派遣	前年同期と比較して、企業からの求人がやや増えている。景気回復の兆しか。
		県南	人材派遣	製造業をはじめ、求人は増加傾向にあるため。但し分野によって様々、一概には言えない点も多数あり。
変わらない	家計	東青	コンビニ	天候に左右されているとは思いますが、3月下旬より急に天候不順が続き、上がりかけた売り上げが、4月というのに低迷している為、また、例年に比べ新入社員や転職の動きが鈍い様な気がする。
			パチンコ	まだ大都市圏での不動産投資が集中して地方に及ばないと思う。
			百貨店	客数減という現象が生じており、対象顧客層のボリューム微減は継続しており、抜け出ていないものと推測。
			一般飲食店	業種によって異なると思いますが、大雪の年も暖冬も変わりません。
			卸売業	業種間により温度差ある。食品業界は変わらず。
			住宅建設販売	特に動きなし。例年どおり。
			競輪場	一時的に売り上げ、入場者数増の月もあったが、トータルでは前年と変わらない。横ばい状態であった。
			ガソリンスタンド	乗用車の登録台数が35年前の水準まで下がり、逆に軽自動車の登録台数が増加しているということは、消費者心理はますます堅実になってきている。
			家電量販店	来店客数、客単価に好転の兆しが見られない。
			商店街	個人消費の低迷から抜け出せず、停滞感が漂っている。
			設計事務所	新年度に入ってもニュースが乏しい。
			都市型ホテル	景気は上向いているというものの肌で感じられない。かといって悪くもなっていない、横ばい状態だと思う。
			スナック	相変わらず景気が悪いですね。私のお友達ですが、老舗のお店を4月上旬で閉店致します。又1つ灯りが消えます。淋しいです。私達飲食業と同様深刻に悩んでいます。
			乗用車販売	現状では全然変わってない。
美容院	自営業の方々の中には、仕事をしていても利益率が悪く忙しいだけで身にならないとの事を聞きます。			
旅行代理店	弊社の高額旅行が昨年並みに売れている。			

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	パチンコ	天候が不安定なうえ、大型店の出店等により、集客に苦戦している。
			美容院	個々の価値観に合うものには出費も惜しまないように感じるが、依然サイフのひもはきつい。
			観光名所等	前年は雪害（除雪、排雪）で大変だったが今回はガソリン価格の不安定要因等で特段の変化がない。
			スーパー	過去3ヶ月で見ると、客単価が前年の95.2%。客数・買上点数が増えているのだが、買い回りの傾向が見られる。
			スナック	お客様が来ない。さくらまつりの予約が入らない。
			家電量販店	来客者数、客単価ともに、特に変化なし。
			住宅建設販売	冬期間での例年よりの除雪作業の減少、年度初の役所発注工事のタイムラグ等での不透明感。
			ガソリンスタンド	暖冬の影響で消費が落ち込んだのに貸出金利が上がり、悪影響がある。
			旅行代理店	暖冬の影響で業種間での格差がみられ、平均して変わらないのではないかと。
			一般小売店	天候が良くないという悪要因にもかかわらず、売上げは昨年と比べて変わらない、もしくは微増であるため。
		都市型ホテル	会合での参加人員の減少が続いている。客単価も伸びない。	
		県南	乗用車販売	大手企業の社員はうるおってきている様だが、地場の企業の社員からは厳しい声しか聞こえてこない。
		美容院	年末、新年、卒業、進学、転居など、年末年始の金銭の動向により、ふとこころがうるおっていない状況。	
		一般飲食店	昨年同様自社、他社の景気が伸び悩んでいるようだ。中心街の衰退が目立つ。天気変動も要因の一つ。	
		百貨店	仕事においては、来店客数の減少は止まりつつある様に感じる点において、やや良くなっているのではと考えるが、客単価を見ると依然として伸びが見られない。また、食品の客単価減が目立つため。	
		旅行代理店	県内経済は持ち直しの機運が見られるとの報道もあるが、仕事で接している範囲内では良くなっているとの声はほとんど聞かれない。良いのはほんのごく一部と認識している。	
		一般小売店	間違いなく進入学シーズンのマーケットは縮小しているが、以前より高単価の物も動いている。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	商店街	暖冬で暖房費は減少したと思われるが、家計費にゆとりが出た訳でもなく、消費意欲に結び付いていかない。
			コンビニ	客数は増加傾向だが、お客様1人当たりの売上点数、金額が少ない。(タバコ・ガソリン等、さまざまな生活商品の値上げのためか?)
			卸売業	県内市場は、いまだ低迷を続けており、売上面から見て前年数値をクリアすることが困難な状況が続いている。個人消費が回復する傾向が見あたらない。
		下北	スーパー	1人当たりの単価および買い上げ点数も下がっており、チラシの価格に非常に敏感になり、安さを求めているように思われる。
			レストラン	4月は歓送迎会の予約が昨年より増。後は5月連休に期待を。
			タクシー	平成に入ってから一直線の下降となっていた景気も昨年あたりから下げ止まりの傾向と思われます。徐々に上昇となるよりも地方という環境を考えると底で横ばいの気がします。
			一般飲食店	去年よりいくらか悪いように見受けられますが、ほぼ同じ位なのでこのような回答をしました。
			ガソリンスタンド	暖冬により冬場に潤う商売の打撃が大きい業種が多かったと思われるため。
			コンビニ	来客するお客様から聞いている。
	都市型ホテル		前年とほぼ変わらない為。	
	企業		東青	食料品製造
		広告・デザイン		売上増の要素となる新規イベントがあったものの、全体的に広告予算が収縮しているので変わらない。
		津軽	電気機械製造	景気は確かに悪くはないが、特に受注が増えているわけでもないから。
			飲料品製造	消費者の情報等から聞いて。
			経営コンサルタント	通常は新年度でやや良くなる場合が多いが、今年は暖冬の影響が、実感がない。
			広告・デザイン	見積依頼件数及び受注額に変化なし。
			食料品製造	暖冬少雪だったため、商売にいろいろ影響が出ていると思う。冬は冬らしく、夏は夏らしくないと景気はよくなるらない。
		県南	広告・デザイン	仕事量はさほど変わらないものの、仕事の価格や単価の低下が著しく、利益がかなり厳しい状況で仕事を受けている。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	県南	紙・パルプ製造	昨年秋に打ち出した製品価格復元が漸く浸透し、春の需要期の販売数量も順調な一方、原材料価格は古紙・輸入パルプ等で上昇が続いているため。
			飲料品製造	お得意先（酒販店、量販店、ホテル等）などを見ても、状況が良くなっているとは思えない。
		下北	食料品製造	1月・2月は上向き傾向だったが、3月初旬からの雪等の悪天候のせいなのか、3月は売上・利益共前年割れだった。
	雇用	東青	新聞社求人広告	かつては業種によって好・不調があっても牽引役を担う職種が存在したが、昨今はそれが見当たらず、相変わらず低調。
			人材派遣	派遣社員に対する潜在需要は旺盛であるが、先行き不透明感から慎重姿勢に変わり、実績に結びついていない。
		津軽	新聞社求人広告	地元商店、企業が疲弊、元気がない。
		県南	新聞社求人広告	シャッターを閉めている店が多い。
やや悪くなっている	家計	東青	スーパー	暖冬のため、除排雪で臨時収入を得ていた業種とその関連業種の方々の金廻りが悪くなった。明らかに買い控え傾向が見える。
			衣料専門店	買い控え現象はなお一層深刻だ。前年比20%程度落ち込んでもおかしくない。この分を催事でカバーできるかが問題だ。
			観光型ホテル・旅館	前回は忘新年会などの宴会などが多少あったが、今月は新入学や移動などで宿泊宴会が期待薄であるため。また選挙などもあり動きが悪い。
		津軽	百貨店	1～2月の暖冬の影響にて冬物衣料等の売行きが鈍く、さらに3月の気温低下により、春物展開の立ち上がりに影響があった。その流れを4月まで引きずっている状況。
			衣料専門店	暖冬のためか、防寒コート類不調。
			商店街	商店街への来客数及び当会で発行している商店向けポイントの売上から、大都会で言われているような景気の良さが伝わってこない。むしろ衰退感の方が強い気がする。
			設計事務所	大手企業関連は変化があまり感じないと思いますが、自社で開拓する仕事がこれから先見えない状態で、経済が良くなる材料に乏しい。
		県南	スナック	街の人通りが少なくなった。良くない方向に向かっている。
		下北	一般小売店	入園・入学の動きが、いつもの年に比べだいぶ遅かったと思います。以前は前もって準備という動きですが、今年は直前で動き出したという感じです。財布のヒモの固さが感じられます。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	下北	スナック	失業者が多い。
		東青	経営コンサルタント	日常接している小売業では暖冬の影響で弱含みであり、建設業も一部の大手を除いて、苦しい状況が続いている。
	企業	県南	建設	地元大型スーパーが3月末で閉店。新テナントを探していたが、今日に至るまで見つからず、100人の解雇となった。現在のところ見通しは立っていない。
悪くなっている	家計	東青	タクシー	暖冬少雪の影響で冬場の稼働が激減。花見の季節含めゴールデンウィークはマイカーでの外出が例年増加の影響が出る。
		津軽	観光型ホテル・旅館	例年この時期は景気の低迷が続きますが今年は特に悪いようです。この時期にある歓送迎会がほとんどない。
			一般飲食店	お昼（ランチ等）のお客様が減ってきている。
			卸売業	暖冬小雪により収入が減少す。今後の資金運用に懸念有り。
			コンビニ	周辺事務所の閉鎖。昼間人口の減少。
		県南	タクシー	街に人がいない！暖冬でタクシーの需要がない。

( 2 ) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計	東青	観光名所等	予約状況や、お客様のお話などから、青森への印象が良くなり、観光業としては好調の予感がする。	
			パチンコ	新年度予算で多少の公共事業が見込まれると思う。	
			家電量販店	例年、4月度からは商材が本格的に動く。前3ヶ月に比し、良くなっている。	
			都市型ホテル	緩やかに良くなると思われるが、まだ一部の企業や業種であり、格差が広がると思う。	
			観光型ホテル・旅館	観光シーズンでもあり、本年は北東北DC（デスティネーション・キャンペーン）もあり期待したいと思います。	
		津軽	観光型ホテル・旅館	旅行シーズンになるので少しは良くなると思います。今はあまりにも悪いので期待を込めて。	
			県南	家電量販店	7月度、八戸で地上デジタル放送が開始するため、それに伴う需要が拡大しているため。
				美容院	物入りの時期を終え、4月新年度の色々な改革の見込みもつき、暖冬での出費も少なかったので、動き出すことを望んでいます。
				観光名所等	花見やゴールデンウィークで出掛ける事が多いので、お金もたくさん(?)使って、お金が回って景気が良くなってほしい。
				設計事務所	中央都市圏の景気が少しずつ近付くのでは。
	観光型ホテル・旅館	徐々に東京圏・中京圏の好景気が波及してくると思われる。			
	企業	下北	都市型ホテル	希望を含めて・・・。	
			東青	食料品製造	新幹線建設の効果がそろそろ出てくるのではないかな。
		建設		景況は総じて上向きと言えようが、建設業にあっては、官公需の減少が続き、民需は競争による収益低迷 - という構造的要因が大きく作用するから目立った変化はないと考えられるものの幾分は改善されよう。	
		津軽		電気機械製造	携帯電話向けの部品の受注が増えているため。
経営コンサルタント			中央の景気力強さが少したが波及するのではないかと考える。		
飲料品製造	そうなってほしいので。				

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	企業	県南	経営コンサルタント	大手企業の収益が伸びて、設備投資が積極的になり、関連した下請けなどが良くなってきている。
		下北	食料品製造	観光シーズンの幕開けと、桜祭り（桜の見頃）等がゴールデンウィークと重なりそうだから。
	雇用	東青	人材派遣	暖冬の影響は、個人消費支出には有利に作用した。資産の目減りを最小限に抑えた効果が春需要に結びついてくると思われる。
		県南	新聞社求人広告	期待を込めて。
変わらない	家計	東青	コンビニ	天候次第と思います。猛暑になることを期待しています。
			百貨店	天候に加え、回復へと刺激する動向・好材料が見当たらない。
			競輪場	変動要素が見当たらず、一般家庭の家計が良くなっているとは考えにくい。
			レストラン	まったく予測がつかない。
			スナック	変わらないという事は悪いという事です。先日のテレビニュースで青森県は最下位。良い事は全くなしです。賃金が低いのにびっくり致しました。
			ガソリンスタンド	新規オープンした店も見あらず、いつも通りの街並みです。
			設計事務所	変化が起きる要因はあるだろうか？
			卸売業	人口減。売場面積が増（競争激化）。
		旅行代理店	弊社の申込者がリピーターを中心に新しい方が増えている。	
		津軽	百貨店	ここ数か月のトレンドを考えるとその変わらないのではないかと。良くなりそうな兆しやポイントが見当たらない。
			パチンコ	首都圏での景気回復の話題はあるが、地方は厳しい状況が続くものと思われる。
			都市型ホテル	大きな波も小さな波も予測が出来ない。
			タクシー	燃料費が高止まりで、不安定なため、いまだに先行きが不透明である。
			観光名所等	農家やりんご取り扱い業界、建設業界など静か。企業体質改善中。人材確保（ふさわしい人材が集まらない）。
家電量販店	都市部では企業をはじめ好調なようですが、こちらでは個人消費の伸び景気回復の実態はない。			



先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	津軽	商店街	景気が向上する要素が見受けられない。当市は桜祭りが控えており多少の上向きは期待できるが、大きな上向きはないと思われる。	
			スナック	団体予約が入らないし、個人で飲むお客様が少ない。	
			一般小売店	中心商店街の活気は沈滞化する一方だが、何とか努力していくと売上げの落ち込みは避けられそうであり、これまでも微々たるものであるが、伸びてきたが、これからも変わらないだろうと思う。	
			住宅建設販売	金融機関の融資先の選別、金利高傾向により、季節的な陽気による気分的なマインドを吸収している。	
			設計事務所	今までの現状を維持しようと頑張っていると思うが、冷え込んだ経済状態はすぐには変化（特に地方は）しないと思います。	
			卸売業	公共工事の発注時期及び発注状況により変動があると思う。	
			旅行代理店	消費に対するインパクトがあるイベントが見あたらない（桜まつりも例年通り）。	
		県南	衣料専門店	八戸そのものが大きく変わらないと景気回復は見込めない。	
			タクシー	統一地方選挙の直後なので、あまり期待できない。	
			スーパー	団塊の世代が退職（定年）になり、一時的に消費は増加すると考えますが、我々の小売業については、いい会社と悪い会社の格差が出ると考えます。お客様が店を選ぶと思います。	
			旅行代理店	新年度第一四半期の予約状況は、あまり良くない。団塊世代の反応も今ひとつというところ。好転材料が見当たらない。	
			一般飲食店	お金を使いたくても使えない現状がある。各家庭で余計な支出を控えているようだ（必需品以外）。又、これといった良い事柄がない。	
			住宅建設販売	住宅税制も特に目玉がない。	
			百貨店	八戸地区において、景気改善のための大型事業計画なり公共投資なりの動きが予定されているわけでもないため。	
			コンビニ	全国で見る就職率と県や市でとらえた就職率との差が大きいのでは？市で見る限りは若年層の就職率が悪い。フリーターの増加、長期での雇用が難しい！	
			商店街	暖冬の影響で街来者は増加したが、購買につながらず、景気は低迷横這いである。	
			下北	タクシー	景気横ばいが基本とすると、高齢化やそれに年金支給額の削減等で購買意欲につながらない等見通しは明るくないと思います。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	スーパー	天候の不順で客数の減少が見られ、春物商品の動きは良くないと思われます。
			レストラン	雪の少ない年でした。除雪を委託している所は出費が少なく、逆に請負業者は大変な年だったでしょう。
			一般小売店	これといった好転するような状況は見受けられません。求人への改善もなさそうですので、買い控えの傾向は変わらないと思います。
			一般飲食店	大体最低の今の状態が続くのではないかと予想します。今年満50周年ですが、今みたいな先の見えないことは初めてです。
			スナック	夏場から多少良くなると思う。
			ガソリンスタンド	大した公共事業もある訳でも無いし、明るい要素が見受けられないため。
			コンビニ	本来ならば上向きになる要因はないのですが、期待感です。
	企業	東青	広告・デザイン	特に大きな要素がない。
			津軽	食料品製造
		県南	広告・デザイン	好転する要素はあるのだろうか。悪くならなければ良いのでは。企業努力、工夫の範囲ではない。
			電気機械製造	製造業では材料高騰や人材不足があるので一気に景気が良くなることはないように思います。今の製品は高い技術が求められるので、採用した人が育つ中で徐々に仕事が拡大していく流れであると思います。
			広告・デザイン	地元の企業に対する県外からのアプローチが多くなり、対抗できない価格勝負が目立っているように感じる。
			飲料品製造	業界ではとりわけ良くなる材料は見あたらない。また、消費に関しても先が見えない。
			食料品製造	4月の販売水準が高く、自社商品を数多く投入するので売上は変わらないと思う。
紙・パルプ製造	資材価格の上昇は続くと予想されるが、設備投資効果によりコストアップ分を吸収していく。			
雇用	東青	新聞社求人広告	地デジやIT化の進行による家電商戦にも期待大だが、起爆剤になり得ていない。老舗商店の相次ぐ閉店の影響も出てきそう。	
	津軽	人材派遣	1年前と比較すれば、景気はやや上向きな状況に感じられるが、3ヶ月後という短期間であれば、目立った変化はないと思う。	

先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	雇用	津軽	新聞社求人 広告	景気回復の要素が見当たらない。	
		県南	人材派遣	上昇傾向に向かうと思われるが、全体的には変化しないと考える。	
やや悪くなっ ている	家計	東青	スーパー	気候不順と桜の開花等の微妙なズレ（早い）が予想され、商売にはマイナス要素が多い。対応策練るが、競争は逆に激化していくだろう。	
			住宅建設販 売	消費に関してはシビアになってきており、ローコスト化がすすんできている。	
			乗用車販売	やはり、売れ行き、お客のニーズが軽に移行している。	
			衣料専門店	ローン審査の厳格化は多重債務者を少なくする為とはいえ、特に高齢者の消費を阻害する。	
			美容院	サイクルが長くなっている。	
		津軽	衣料専門店	不況ムード、多すぎる。	
			ガソリンス タンド	郊外型大型ショッピングセンターが続々でき、中心街に人・車の流れが少なくなっている。	
			一般飲食店	観光ツアーの予約の動きが鈍い。	
		県南	一般小売店	保険会社の不払い問題、キャッシングのグレーゾーン等、経済報道に明るい話題がない。	
			スナック	先行きに明るいものが見られない。	
			卸売業	金利が上昇しており、企業の金利負担増となり収益が改善していない中では厳しい状況となる。	
		企業	東青	経営コンサル タント	県内に影響力の大きい建設業、卸小売業、サービス業で厳しい状況が続いており、小規模業者の脱落も懸念される。良くて横ばいか？
				建設	公共工事の発注方法が総合評価方式へ向かっており、その為、実績づくりをする必要に迫られることから、低入札が続発している 利益率の大幅低下となる。
悪くなってい る	家計	東青	タクシー	中央大手の利益は増。ベアは上がらず（一時金は維持）地方にはまだそのカケラも届く気配が見えない。県・市の予算が減。徴収税は増で手取が目減り。金のまわりが悪くなる。	
		津軽	コンビニ	住民税アップによる可処分所得の減少。	

## 5 . 参考

### ( 参考 1 ) 景気の現状判断

D I

n=98

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>34.2</b>	<b>32.0</b>	<b>32.9</b>	<b>31.1</b>	<b>33.7</b>
家計関連	34.9	31.3	32.9	30.7	32.5
小売	42.0	32.5	39.2	34.2	31.7
飲食	29.2	29.2	27.1	29.2	31.8
サービス	32.4	31.5	26.9	27.9	35.6
住宅	25.0	29.2	40.0	29.2	25.0
企業関連	34.7	34.7	34.7	33.3	43.1
雇用関連	25.0	32.1	28.6	28.6	21.4

回答別構成比 ( % )

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
良い	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
やや良い	10.2	5.0	3.1	7.1	6.1
どちらとも言えない	38.8	42.0	42.9	33.3	42.9
やや悪い	28.6	29.0	32.7	36.4	30.6
悪い	22.4	24.0	20.4	23.2	20.4

地区別 D I

	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月
<b>合 計</b>	<b>34.2</b>	<b>32.0</b>	<b>32.9</b>	<b>31.1</b>	<b>33.7</b>
東青	35.0	35.8	27.6	25.0	32.5
津軽	33.6	30.0	35.8	35.0	31.7
県南	34.5	33.3	37.1	33.3	35.7
下北	32.5	22.5	27.5	30.0	37.5

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	旅行代理店	友人の花屋さんの話では「花屋は大変だ、スーパーから買う人が多くて」「葬儀用の花輪が少ない、法人の経費節約と虚礼廃止と思われる」。旅行者では法人の社員旅行がほとんど無く大変。修学旅行は利幅が少なくなり甘みがなくなった。
		レストラン	問屋（魚屋、八百屋、肉屋、酒屋など）の情報では飲食業全般が悪かったみたいです。（問屋がかなり売上げが悪かったみたい）
		住宅建設販売	日銀の利上げによる金利上昇。
		衣料専門店	専門店の中でも大型店の閉店が目立つ。構造不況の波は大きく商業者をのみこんでいる。青森県の先は暗い。
		スナック	青森県の国会議員先生方をお願いします。又、知事さん、県議員の先生方にも真面目に取り組んでほしいです。
		観光名所等	新幹線開業は待ち遠しいが、青森の観光地としては、まずは、今現在来ていただいているお客様を充分におもてなしをしたいと思います。当施設に来園いただいているお客様にも、工事の影響による騒音問題や景観の変化など、いろいろな問題点はあるが、精一杯おもてなしをしていきたい。
		商店街	商店街で相次いで老舗が閉店するなど、大変厳しい経営実態であったことが浮かび上がっております。いくら歩行者通行量が増加傾向にあっても長引く消費不況・経済環境の変化などには抗うことが出来ないものだろうか。
		パチンコ	今年は暖冬の影響で雪が少なく、除雪費用が少ない分、土木（除雪）業の収入の落ち込みが、青森市経済に多少なりともマイナスだと思う。
		乗用車販売	高額商品は売れにくくなっているのが実情ではないか。
		コンビニ	近くでビルをビジネスホテルに改築中と、銀行の支店を建設中の為、工事関係者の来客が多くみられます。同業者がオープンして厳しかった売上げですが、まだまだ挽回するまでにはいたりません。相変わらず厳しさは続いています。
	美容院	安い技術などに移行するお客様がチラホラ目につくようになってきた。	
	タクシー	2007年の大幅な退職者が青森へ観光で足を伸ばしてくれるのを期待する。	
	百貨店	例えば食料品についても目的外のものは極力買わないような意識が強く感じられる。衝動買いの様子が衣料品はおるか食料品にも同じ考え方になっているのでは。	
津軽	住宅建設販売	物販物流店舗等の出店の条件等が厳しくなった。多店舗展開の戦略の見直しか？	
	旅行代理店	統一選挙時は消費がにぶい傾向があり、この先どう展開するか気になるところです。	

分野	地区	業種	自由意見
家計	津軽	都市型ホテル	新規ビジネスホテルの建設が続いている。客離れを防ぐには改修等の設備投資が余儀なくされる。
		一般飲食店	新しい店舗が次々とできて、飲食店が多くなっている。
		卸売業	自己破産申請が目立ってきた。
		ガソリンスタンド	弘前市もホテルの建設ラッシュで中央資本の業者が新規参入してくるが、その業種にも同様、地元の業者はどうすれば生き残れるのでしょうか？
		一般小売店	県の人口が30年後100万人を割るといふ予想があり、根本的に変えていかなければ将来的には厳しいと思う。
		美容院	エステなどに関心があり、安心出来るものにはドンドン出費している。
	県南	百貨店	八戸市において、2007年度に中心市街地活性化基本計画に取り組むことを表明したことにより、今後数か月の内、三日町、十三日町商店街において、活性化のための動きが見られると考える。
		一般小売店	少子化は間違いなく進行しているが、ここ数年で市内には進学塾が増え、皆それぞれに運営しているようなので、教育費は以前より増えているのだろう。
		スナック	私達飲食業はもっと回転がありませんと大変です。
		設計事務所	行政のテコ入れがなければ、本格的な景気回復はないと思う。
		卸売業	県内人口は減少が続いており、今後も消費回復が望めない状況であり、景気につながる対策を講じてほしい。
		タクシー	景気に関係なく、選挙の度に市民が街に出なくなる。どうにかならないものか？
		観光名所等	近所の方がパートで働いていましたが、事情により辞めました。しかしすぐ次の仕事を見つけました。探せばあるんだなあと思いました。
		美容院	街中は年金生活年齢の姿が多く見られます。冠婚葬祭の時もあまり美容室を利用せず、気軽な姿で参加することが多くなってきている。気にしなくなっている。
		一般飲食店	この先行き不透明な景気を何とか末端まで届く、行政・民間知恵を出し合っ て、見える対策を講じてほしい。
		下北	レストラン
	タクシー		以前は考えられなかったことですが、お役所や大企業でも当然のように値引きをお願いしてくる時代に入っています。使ってくれるわりには売上げにつながらないのが現実です。
	企業	東青	食料品製造
建設			住宅着工戸数（新設）は、平成16年から3年連続で前年を割り込んでいるものの、当地特有の大降雪に耐えかねたマンション指向は強まっていると思われ、マンションとりわけ分譲のそれは向後の伸びを期待できよう。

分野	地区	業種	自由意見
企業	津軽	経営コンサルタント	中央からの景気の波及は、半分は希望でもある。
		食料品製造	市内あちこちに売地の看板が目立つ。商売等で個人破産した人が随分いるらしい。
		広告・デザイン	材料仕入業者（主として東北地区）がセールスに来社するが、どの業者も全く元気なし。
		電気機械製造	まだこの辺は大丈夫ですが、関東にある本社では新卒の採用に相当苦労しているそうです。
		建設	H19年度もスタートしましたが、先行きの見通しが見えないように思える。もう少しでさくら祭りが始まります。日本一の桜を全国の皆さんが見物に来て喜んで少しでも明るい方向へ行ってもらいたい。
	県南	食料品製造	八戸の水産加工業界は非常に辛い操業を強いられている。イカ原料がなく、サバ原料で何とかつないでいる状況です。
		広告・デザイン	地元の企業に対する県外からのアプローチが多くなり、対抗できない価格勝負が目立っているように感じる。
		経営コンサルタント	地域格差が拡がり、当地域はおきざりにされている。企業誘致とか、地場産業の育成をはかるべきだ。
		飲料品製造	住宅やアパートなどが増えている気がし、分野では景気が良くなってきているのでは？
		紙・パルプ製造	県内のある温泉に行ってきたが、有名なだけあって観光のオフシーズンにも拘わらず関東地方からのお客さんも来ていた。「売り」になるものがはっきりして全国に知れ渡るといことは強いと感じた。
		電気機械製造	外国人観光客の増加。米・仏・韓・中の人が多い。仕事で来ている人、休暇で来ている人。青森の自然をうまく活用して県経済に好影響を与えるような動きになれば良いと感じています。
	下北	食料品製造	中小企業は軒並み金利の上昇がジワジワと経営に響いてくると思います。その負担分を別の部分で取れないと元気がますますなくなります。
		人材派遣	厚生年金・健康保険の動向が一番の関心事である。当社にとって死活問題であり、派遣社員自身もかなりの減収となる。
雇用	東青	新聞社求人広告	求人広告は半年前と比較して件数は若干増えつつあるものの、サービス業が主でボリュームに欠ける。
		人材派遣	最近市内で老舗のCDショップが閉店しました。聞くところによると、昨今のインターネットビジネス拡大により、パソコンや携帯電話で音楽をダウンロード購入する方が増え、CDの売り上げが年々減少していたとか。このような現況に対応ができない事業所は、今後ますます増加するのでしょうか。こんなことの積み重ねが、中央経済と地方経済との格差をもたらす原因のひとつになっているのでしょね。